



平成27年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年10月22日

上場会社名 株式会社モバイルファクトリー 上場取引所 東
 コード番号 3912 URL http://www.mobilefactory.jp
 代表者 (役職名)代表取締役 (氏名)宮脇 裕二
 問合せ先責任者 (役職名)執行役員計数管理部長 (氏名)谷本 洋 (TEL)03-3447-1181
 四半期報告書提出予定日 平成27年11月13日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有(機関投資家・証券アナリスト向け)

1. 平成27年12月期第3四半期の連結業績(平成27年1月1日~平成27年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年12月期第3四半期	1,243	—	232	—	224	—	136	—
26年12月期第3四半期	—	—	—	—	—	—	—	—

(注) 包括利益 27年12月期第3四半期 136百万円(—%) 26年12月期第3四半期 一百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年12月期第3四半期	59.77	59.77
26年12月期第3四半期	—	—

- (注) 1. 平成27年12月期第3四半期連結累計期間より四半期連結財務諸表を作成しているため、平成26年12月期第3四半期の数値及び対前年同四半期増減率を記載しておりません。
 2. 当社株式は、平成27年3月26日に東京証券取引所マザーズに上場しております。平成27年12月期第3四半期の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益は、新規上場日から平成27年12月期第3四半期連結累計期間の末日までの平均株価を期中平均株価とみなして算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
27年12月期第3四半期	1,770	1,533	86.6
26年12月期	—	—	—

(参考) 自己資本 27年12月期第3四半期 1,533百万円 26年12月期 一百万円

(注) 平成27年12月期第3四半期連結累計期間より四半期連結財務諸表を作成しているため、平成26年12月期の数値は記載しておりません。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年12月期	—	0.00	—	0.00	0.00
27年12月期	—	0.00	—	—	—
27年12月期(予想)	—	—	—	20.00	20.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有
 配当予想の修正については、本日(平成27年10月22日)公表いたしました「業績予想及び配当予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

3. 平成27年12月期の連結業績予想(平成27年1月1日~平成27年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	1,717	—	254	—	246	—	150	—	64.84

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有
 当社は、平成27年12月期第3四半期より四半期連結財務諸表を作成しているため、対前期増減率は記載しておりません。
 平成27年12月期の連結業績予想の修正については、本日(平成27年10月22日)公表いたしました「業績予想及び配当予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
 新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(注) 特定子会社の異動には該当しませんが、株式会社ジーワンダッシュを当第3四半期連結会計期間より連結の範囲に含めています。

- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
 (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 ④ 修正再表示 : 無

- (4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
 ② 期末自己株式数
 ③ 期中平均株式数(四半期累計)

27年12月期3Q	2,416,250株	26年12月期	2,037,250株
27年12月期3Q	—株	26年12月期	—株
27年12月期3Q	2,283,352株	26年12月期3Q	—株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。当社は将来予測に関するいかなる内容についても、その確実性を保証するものではありません。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(四半期決算補足資料及び四半期決算説明会内容の入手方法について)

当社は、決算の説明資料として、四半期決算短信発表日(平成27年10月22日)にT D n e tで開示いたします。

また、本日(平成27年10月22日)にアナリスト向け説明会を開催する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	5
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	5
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	5
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	5
3. 四半期連結財務諸表	6
(1) 四半期連結貸借対照表	6
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	10
(重要な後発事象)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における我が国の経済状況は、企業業績の回復や雇用環境の改善など景気は緩やかな回復基調で推移いたしました。しかしながら、中国等の経済成長の減速など、景気の先行きについては不透明な状況が続いております。

このような状況のもと、当社グループでは引き続きモバイルサービス事業の強化及びソーシャルアプリサービスの位置情報連動型ゲームを強化するため、株式会社ジーワンダッシュを設立いたしました。当社グループでは、位置情報連動型ゲームを中心に「わたしたちが創造するモノを通じて 世界の人々をハッピーにすること」という使命を果たすべく今後更なる事業成長を目指しております。

当第3四半期連結累計期間におけるサービスごとの主な取り組みとしましては、位置情報連動型ゲームの新規イベントとして、「駅奪取PLUS」では、富士急行株式会社と共催で「駅奪取の夏！まるっと富士山スタンプラリー」を開始いたしました。「ステーションメモリーズ！」では、全国の花火大会開催最寄り駅を収集する企画を行うほか、株式会社エイチ・アイ・エスと020イベントを開始いたしました。

当社内部の取り組みとしましては、広告出稿の強化及び出稿先の検討・管理、割合の見直し等を行い新規ユーザーの獲得に注力いたしました。

この結果、位置情報連動型ゲームの当第3四半期連結会計期間における売上高は、過去最高を更新いたしました。

スマートノベルにおきましては、当第3四半期連結累計期間で新作を計3本リリースしております。

コンテンツサービスにおきましては、9月にて「最新曲★全曲取り放題」がサービス提供から10周年を迎えました。継続的な広告出稿管理を行い、収益の安定化に取り組んでおります。

上記の結果、当第3四半期連結累計期間における売上高は1,243,077千円（うちソーシャルアプリサービスの売上高は612,103千円（うち位置情報連動型ゲームの売上高は385,129千円、スマートノベルの売上高は221,624千円及びその他の売上高5,349千円）、コンテンツサービスの売上高は630,973千円）、営業利益は232,356千円、経常利益は224,401千円、四半期純利益は136,468千円となりました。

なお、当社グループはモバイルサービス事業の単一セグメントであるため、セグメント情報の記載を省略しております。

参考：サービス別売上高（単位：千円）

項目	当第3四半期連結累計期間 (自 平成27年1月1日 至 平成27年9月30日)
位置情報連動型ゲーム	385,129
スマートノベル	221,624
その他	5,349
ソーシャルアプリサービス 計	612,103
コンテンツサービス 計	630,973
合計	1,243,077

(2) 財政状態に関する説明

(流動資産)

当第3四半期連結会計期間末における流動資産は、1,580,948千円となりました。主な内訳は、現金及び預金1,174,206千円、売掛金368,454千円、前払費用21,506千円であります。

(固定資産)

当第3四半期連結会計期間末における固定資産は、189,469千円となりました。主な内訳は、建物(純額)26,632千円、コンテンツ17,895千円、コンテンツ仮勘定25,981千円であります。

(流動負債)

当第3四半期連結会計期間末における流動負債は、225,422千円となりました。主な内訳は、未払金124,067千円、未払法人税等39,744千円、未払消費税等24,427千円、賞与引当金25,391千円であります。

(固定負債)

当第3四半期連結会計期間末における固定負債は、11,308千円となりました。内訳は、資産除去債務11,308千円であります。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産は、1,533,686千円となりました。内訳は、資本金470,319千円、資本剰余金245,819千円、利益剰余金817,548千円であります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当社は、平成27年12月期の業績予想につきまして、平成27年3月26日付の「東京証券取引所マザーズへの上場に伴う当社決算情報等のお知らせ」で公表しました業績予想を平成27年10月22日付で修正する旨を公表しております。

業績予想の修正に関する内容説明として、①当初業績予想(通期)及び第3四半期連結累計期間の業績比較、②業績予想の修正及び修正理由、③業績予想などの将来予測情報の作成方法、④業績予想に関する注意事項、については以下のとおりです。

なお、業績予想の修正は、適時開示の要件に該当いたしません。第3四半期連結累計期間実績で営業利益が当初業績予想(通期)の96.2%の進捗率となった点をふまえて、第4四半期連結会計期間での計画を考慮した上で行います。また、当社は第3四半期連結会計期間から連結決算に移行しておりますが、連結子会社による影響は軽微であり当該業績予想の修正に影響を与えるものではありません。

①当初業績予想(通期)及び第3四半期連結累計期間の業績比較

項目(単位:百万円)	当初業績予想 (通期)	第3四半期連結累計期間 実績	進捗率
売上高	1,633	1,243	76.1%
営業利益	241	232	96.2%
経常利益	234	224	95.7%
四半期(当期)純利益	147	136	92.4%

第3四半期連結累計期間の業績は、位置情報運動型ゲームが好調に推移いたしました。特に、他社名義で配信しております「ステーションメモリーズ!」のiOS及びAndroid向けは、プロモーションにより利用ユーザーを伸ばし、売上高も大幅に増加しております。

また、自社名義で配信しておりますアプリについては売上高の総額表示(注1)を行っておりますが、他社名義で配信しておりますアプリは売上高の純額表示(注2)を行っており、自社名義と比較して売上高営業利益率が高くなります。

従いまして、「ステーションメモリーズ!」のiOS及びAndroid向けの売上高が当初予想を上回り、他社名義の売上高割合が高まった結果、売上高の進捗率に比べて営業利益の進捗率が高くなっております。

上記の結果、当初業績予想(通期)に対して、第3四半期連結累計期間の実績の進捗率は、売上高76.1%、営業利益96.2%、経常利益95.7%、四半期(当期)純利益92.4%となりました。

②業績予想の修正及び修正理由

項目(単位：百万円)	当初業績予想 (通期)	修正後業績予想 (通期)	増減額	増減率
売上高	1,633	1,717	84	5.2%
営業利益	241	254	12	5.2%
経常利益	234	246	11	5.1%
当期純利益	147	150	2	1.7%

当社の第3四半期連結累計期間の業績におきましては、位置情報連動型ゲームの「ステーションメモリーズ！」が利用ユーザーの増加により好調に推移しており、営業利益の当初業績予想（通期）に対する進捗率は96.2%に達しております。

また、来期以降の位置情報連動型ゲームの更なる成長のため、第4四半期連結会計期間（平成27年10月～平成27年12月）において、より積極的なプロモーションを行うことを計画しております。当該プロモーション費用は、第3四半期連結会計期間（平成27年7月～平成27年9月）と比較して2倍以上を計画しており、プロモーション費用の増額により、営業利益の積上げは大幅な減少を見込んでおります。

このような状況をふまえ、適時開示の要件には該当しておりませんが、業績予想の修正を行っております。

なお、その他の売上やコストにつきましては、実績状況を鑑みて反映しておりますが、概ね当初業績予想（通期）のとおりであります。

③業績予想などの将来予測情報の作成方法

将来予測情報の作成方法については、平成27年4月22日付の「平成27年12月期第1四半期決算短信」の添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明」で公表しました内容から変更はありません。

④業績予想に関する注意事項

当社では、プロモーションを行うにあたり、投資対効果を広告媒体ごとに検証し、出稿しております。そのため、第4四半期連結会計期間（平成27年10月～平成27年12月）においてプロモーション費用を大幅に増やす計画ですが、検証の結果次第では計画の見直しを行う場合があります。

プロモーション費用が計画を下回る場合には、営業利益等の各利益項目が増加いたしますが、新規ユーザーの獲得に影響し、売上高が減少する可能性があります。また、計画を上回る場合には、逆の事象が発生する可能性もあります。

当社としましては、当期及び来期以降の売上・利益の最大化を念頭に、プロモーションを行ってまいります。

なお、業績予想は現時点において入手可能な情報に基づき作成しており、実際の業績は今後様々な要因によって予想値と異なる場合があります。

(注1) 売上高の総額表示は、ユーザー利用代金を売上高として表示しており、プラットフォーム等の手数料を原価又は販売費及び一般管理費に表示しております。

(注2) 売上高の純額表示は、ユーザー利用代金からプラットフォーム等の手数料を控除した金額を売上高として表示しております。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

なお、重要な子会社の異動には該当していませんが、当第3四半期連結会計期間において、株式会社ジーワ
ンダッシュを新たに設立したため、連結の範囲に含めております。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

当第3四半期連結会計期間
(平成27年9月30日)

資産の部	
流動資産	
現金及び預金	1,174,206
売掛金	368,454
貯蔵品	931
前払費用	21,506
繰延税金資産	15,341
その他	1,448
貸倒引当金	△941
流動資産合計	1,580,948
固定資産	
有形固定資産	
建物	39,641
減価償却累計額	△13,009
建物(純額)	26,632
工具、器具及び備品	24,232
減価償却累計額	△10,460
工具、器具及び備品(純額)	13,772
有形固定資産合計	40,404
無形固定資産	
ソフトウェア	7,172
コンテンツ	17,895
コンテンツ仮勘定	25,981
その他	19
無形固定資産合計	51,068
投資その他の資産	
敷金及び保証金	24,133
繰延税金資産	73,861
投資その他の資産合計	97,995
固定資産合計	189,469
資産合計	1,770,417

(単位：千円)

当第3四半期連結会計期間
(平成27年9月30日)

負債の部	
流動負債	
買掛金	8,910
未払金	124,067
未払法人税等	39,744
未払消費税等	24,427
賞与引当金	25,391
その他	2,879
流動負債合計	225,422
固定負債	
資産除去債務	11,308
固定負債合計	11,308
負債合計	236,730
純資産の部	
株主資本	
資本金	470,319
資本剰余金	245,819
利益剰余金	817,548
株主資本合計	1,533,686
純資産合計	1,533,686
負債純資産合計	1,770,417

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	当第3四半期連結累計期間 (自平成27年1月1日 至平成27年9月30日)
売上高	1,243,077
売上原価	579,828
売上総利益	663,249
販売費及び一般管理費	430,892
営業利益	232,356
営業外収益	
受取利息	28
受取賃貸料	150
その他	9
営業外収益合計	187
営業外費用	
株式交付費	5,375
株式公開費用	2,767
営業外費用合計	8,142
経常利益	224,401
特別損失	
固定資産除却損	38
特別損失合計	38
税金等調整前四半期純利益	224,362
法人税、住民税及び事業税	87,872
法人税等調整額	21
法人税等合計	87,893
少数株主損益調整前四半期純利益	136,468
四半期純利益	136,468

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

	(単位：千円)
	当第3四半期連結累計期間 (自平成27年1月1日 至平成27年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	136,468
四半期包括利益	136,468
(内訳)	
親会社株主に係る四半期包括利益	136,468
少数株主に係る四半期包括利益	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第3四半期連結累計期間(自 平成27年1月1日 至 平成27年9月30日)

1. 配当金支払額

該当事項はありません。

2. 基準日が当第3四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第3四半期連結会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

3. 株主資本の著しい変動

当社は平成27年2月20日及び平成27年3月6日開催の当社取締役会決議に基づき、有償一般募集による新株式の発行を行い、資本金及び資本剰余金がそれぞれ158,907千円増加しております。また、平成27年4月30日付でオーバーアロットメントによる売出しに関連して、株式会社SBI証券から第三者割当増資の払込みを受け、資本金及び資本剰余金がそれぞれ86,912千円増加しております。

これらの結果、当第3四半期連結累計期間において資本金及び資本剰余金がそれぞれ245,819千円増加し、当第3四半期連結会計期間末において資本金が470,319千円、資本剰余金が245,819千円となっております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

当第3四半期連結累計期間(自 平成27年1月1日 至 平成27年9月30日)

当社グループは、モバイルサービス事業の単一セグメントであるため、セグメント別の記載を省略しております。

(重要な後発事象)

当社は、平成27年10月22日開催の取締役会において、会社法第165条第3項の規定により読み替えて適用される同法第156条の規定に基づき、自己株式を取得することを決議いたしました。

1. 自己株式の取得を行う理由

資本効率の向上、及び経営環境の変化に対応した機動的な資本政策の遂行とともに、株主還元策として1株当たりの価値向上のため、自己株式の取得を実施いたします。

2. 取得内容

(1) 取得対象株式の種類	当社普通株式
(2) 取得し得る株式の総数	100,000株(上限)(※) (発行株式総数(自己株式を除く)に対する割合:4.1%)
(3) 株式の取得価額の総額	200,000,000円(上限)(※)
(4) 取得期間	平成27年10月23日～平成27年12月18日
(5) 取得方法	東京証券取引所における市場買付

(※) 上記(2)及び(3)はそれぞれ上限を定めたものであり、この実現を保証するものではありません。
株式市場の動向によっては、一部または全部の取得が行われない可能性があります。